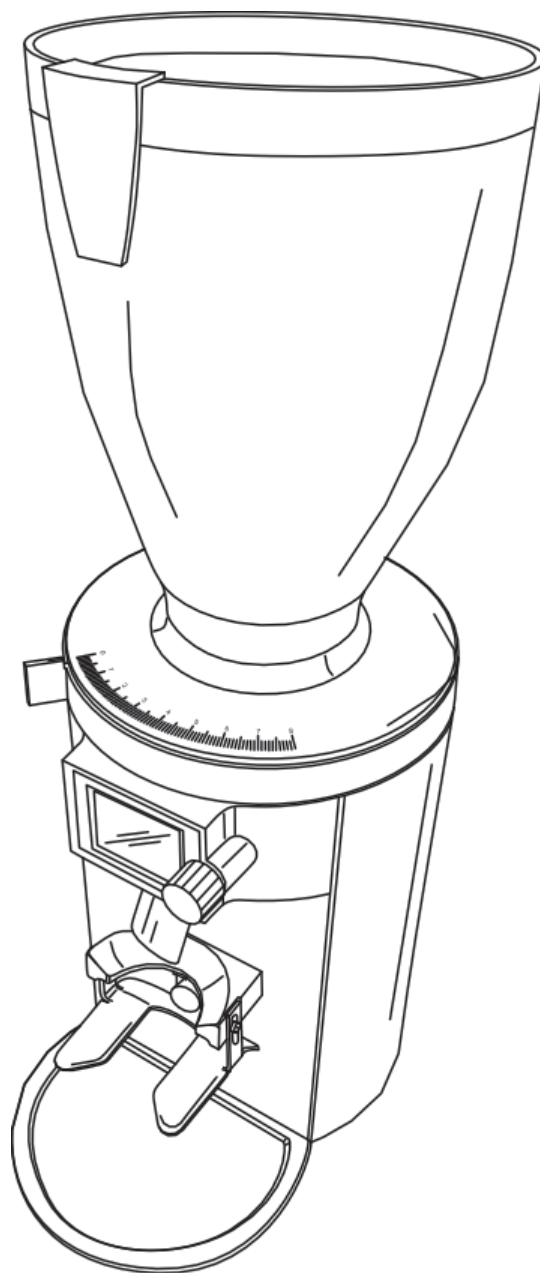


コーヒーグラインダー

E65S

取扱説明書



目 次 頁

● 安全上の注意事項	1
● 各部の名称	2
● 操作方法	3 ~ 5
運転準備	3
操作方法	3
メッシュの調整	4
グラインド時間の設定	4
● プログラム	5
● 清掃	9
毎日の清掃	9
月1回の清掃	10
● 故障診断	11
● 仕様	12

このたびは MAHLKÖNIG E65S コーヒーグラインダーをお求めいただき、まことにありがとうございます。



ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、十分にご理解いただいたうえで正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読みいただけるようわかり易い場所に大切に保管してください。

安全上の注意事項

ご使用になる前に この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

表示内容は次の通りです。

-  **警告** 守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。
-  **注意** 守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

警告

アース線は、必ず専用のアース端子に接続してください。

電源は、タコ足配線での接続はしないでください。

Y型取付機器の電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、製造業者もしくは、その代理店又は同等の有資格者によって行わなければならない。

機械に水をかけないでください。

水のかかりやすい場所や、湿気が多い場所には設置しないでください。

濡れた手で機械・コード・プラグに触れないでください。

機械の分解・改造は絶対にしないでください。

小さなお子様や、不馴れな方が機械に触れない様ご注意ください。

機械に異常を感じたら、ただちに運転を中止し、販売店へ連絡のうえ、その指示に従ってください。

注意

振動の多い場所や、不安定な場所には設置しないでください。

屋外やこれに準ずる場所には設置しないでください。

運転中、ホッパー内に手を入れないでください。

排出口に指や異物を入れないでください。

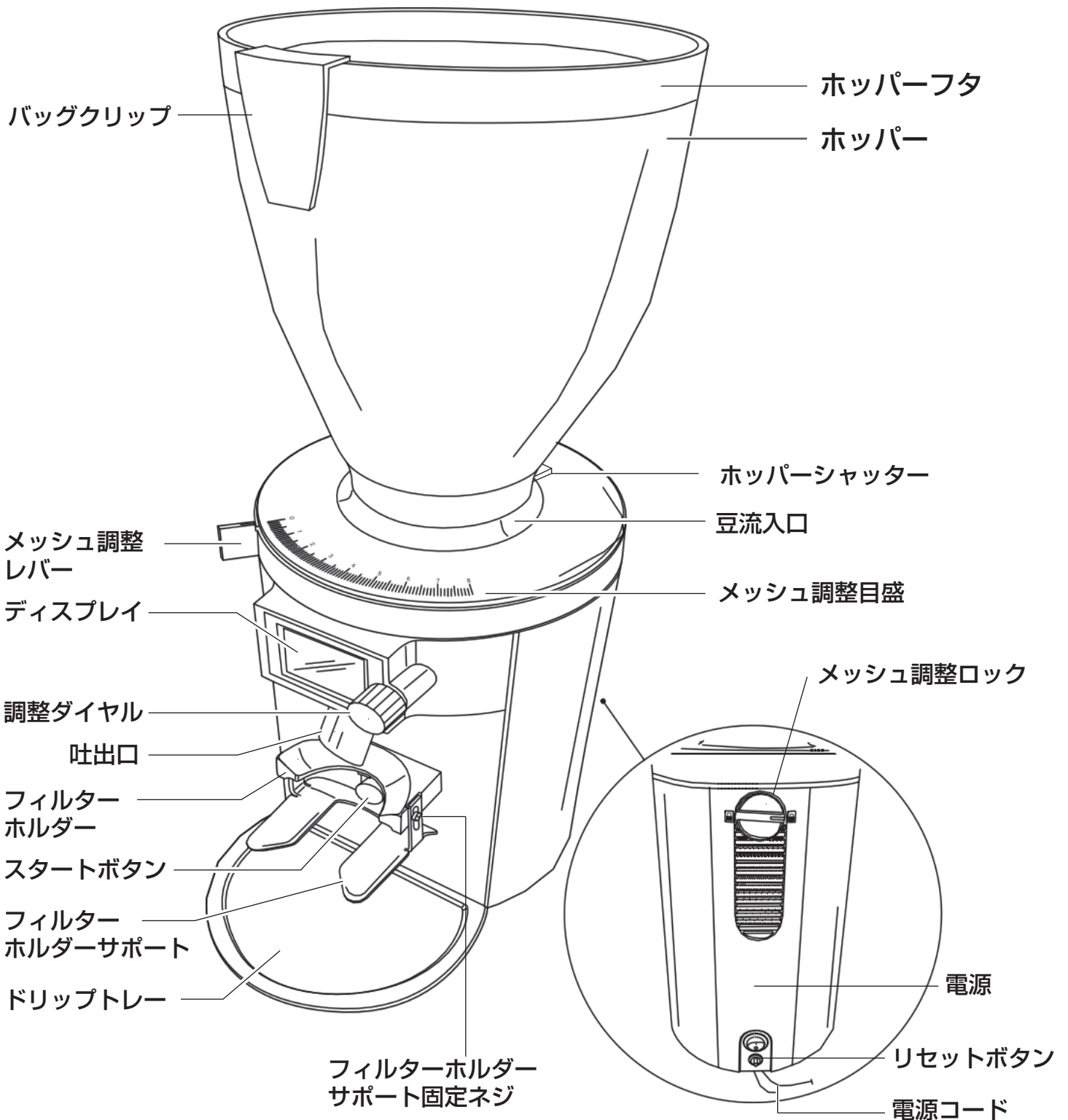
高熱を発生する機械の周辺などでは使用しないでください。

清掃・点検時は、電源プラグを抜いてから行ってください。

営業終了後など長時間作業者がいない間は、電源プラグを抜いておいてください。

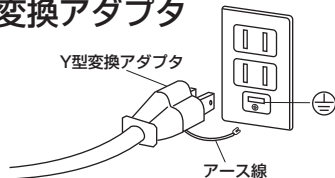
この機械は、コーヒー粉碎の目的以外に使用しないでください。

各部の名称



■付属品

Y型変換アダプタ



電源コードをY型変換アダプタに変更した時は、必ずアース線を接続してご使用ください。

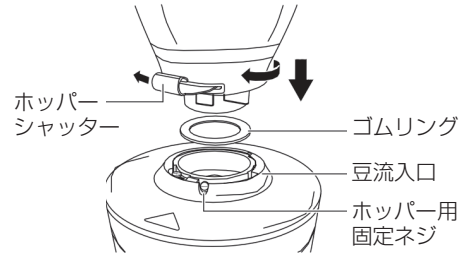
操作方法

準備

■ホッパーの取り付け ※マイナスドライバーはお客様ご自身にてご用意ください。

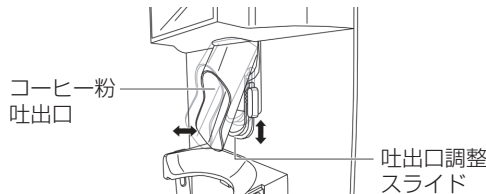
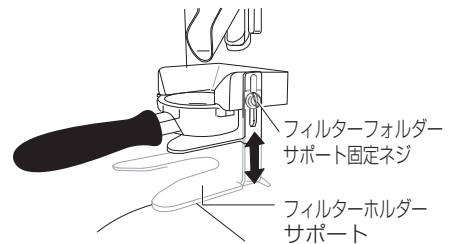
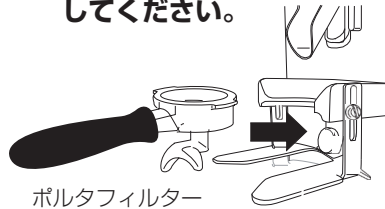
- 1 ゴムリングが豆流入口に正しく取り付けられているか確認してください。
- 2 ホッパーを豆流入口の所定のくぼみにしっかりとはまるように配置してください。
- 3 ホッパーを豆流入口に軽く押し、時計回りに回転させて固定させてください。
- 4 マイナスドライバーを使用してホッパー用固定ネジを時計回りに回して締め付けます。

※グラインダーはホッパーが取り付けられていないと、電源が入りません。

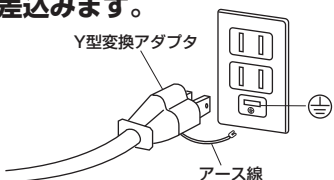
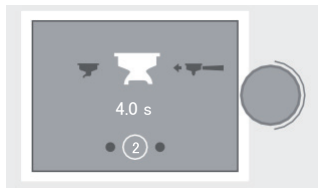



■フィルターサポートと吐出口の調整 ※マイナスドライバー、ポルタフィルターはお客様ご自身にてご用意ください。

- 1 マイナスドライバーを使用して左右のフィルターホルダーサポート固定ネジを反時計回りに回し緩めます。フィルターサポートが下がるまで下におろします。
- 2 ポルタフィルターをセットしてください。
- 3 フィルターホルダーサポートを上へ移動させ、フィルターホルダーサポートがポルタフィルターの真下にくるよう調整します。
- 4 3の状態ではフィルターホルダーサポート固定ネジを時計回りに回して固定します。ポルタフィルターをセットし、手を離しても固定される状態に調整します。
- 5 吐出口調整スライドを上下にスライドさせ、コーヒー粉が吐出口の真中に落ちる位置に調整します。



操作方法

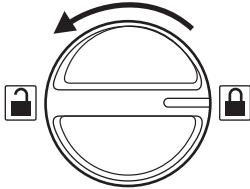
- 1 プラグをコンセントに差し込みます。

注意 電源コードをY型変換アダプタに変更した時は、必ずアース線を接続してご使用ください。
- 2 ディスプレイに待機画面が表示されたら準備完了です。調整ダイヤルを回転させて、レシピを選択してください。

- 3 ホッパーにコーヒー豆を入れます。
※コーヒー豆を入れたら必ずフタをしっかりと取り付けてください。
- 4 ポルタフィルターをセットしてください。

- 5 スタートボタンを押すと、グラインドを開始されます。ディスプレイにはグラインド時間が表示されます
- 6 グラインドが終了したらポルタフィルターを取り外してください。

グラインド中にポルタフィルターを外すと自動的にグラインドを中断し、戻すと再開されます。グラインドをやめる場合は、調整ダイヤルを1度押してください。

メッシュの調整

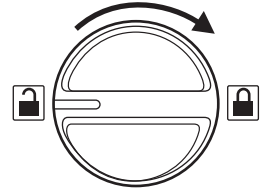
※メッシュは「0」に近いほど細かく、「8」に近いほど粗くなります。メッシュ調整ロックを閉じることで、意図しないメッシュの変更を防ぎます。メッシュを細かくする場合は、グラインダーを動作させながら調整してください。

- 1 メッシュ調整ロックを反時計回りに（開く）回転させてロックを解除してください。



- 2 メッシュ調整レバーを希望の位置まで動かしてください。

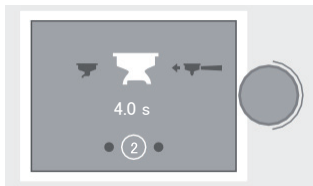
- 3 メッシュ調整ロックを時計回りに（閉じる）に回転させ、ロックを固定してください。



グラインド時間の設定

※ディスプレイ画面は、約5秒間操作が行われないと、通常画面に戻ります。

- 1 調整ダイヤルを回転させ変更したいレシピを選択してください。



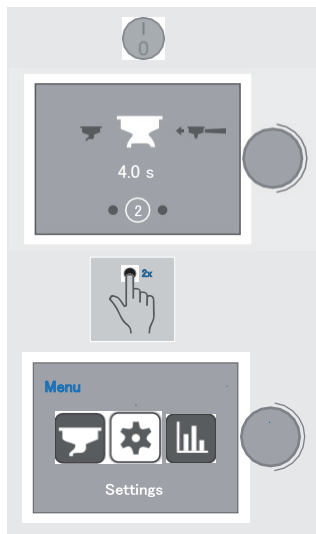
- 2 調整ダイヤルを長押ししてください。設定された時間が点滅します。

- 3 調整ダイヤルを回転させて、希望のグラインド時間を設定してください。

- 4 調整ダイヤルを1度押すと、設定したグラインド時間が記録されます。

プログラム

※プログラム設定は、10秒以上操作しないと、設定/変更がキャンセルされ、待機画面に戻ります。



1 グラインダーの電源を入れます。

2 ディスプレイに待機画面が表示されたら、グラインダーは運転準備完了です。

3 調整ダイヤルを2回押してメニューを開きます。

- ・左上のディスプレイには、現在のメニューが表示されます。
- ・選択したメニュー項目/記号はディスプレイの中央に表示され、色で強調表示されます。
- ・調整ダイヤルを使用してグラインダーを設定します。



レシピの設定

調整ダイヤルを2回押してメニューを開きます。

調整ダイヤルを回してRecipeを選択します。

各レシピの設定を行ってください。マニュアルグラインドの場合、グラインド時間は調整できません。






レシピ数の選択

レシピ数(1~6レシピ)を設定します。

レシピのアイコン設定

アイコンを選択して設定します。

アイコンの種類

	ボトムレスフィルター		シングルフィルター
	ダブルフィルター		マニュアルグラインド スタートボタンを押している間のみグラインドが行われます。 スタートボタンからポルタフィルターを外すと自動的に終了します。
	カップモード		

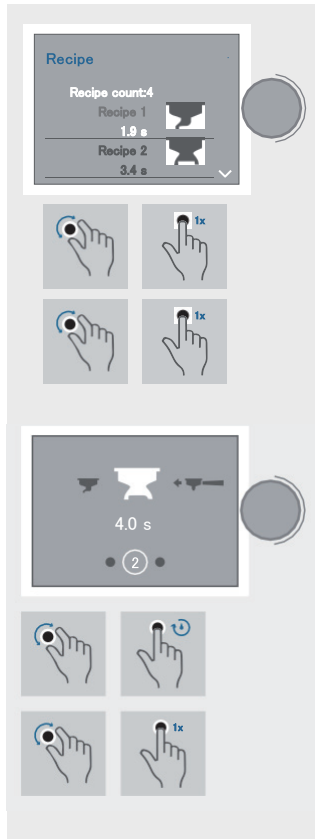
※出荷時には、レシピはデフォルト値が設定されています:

シングルフィルター : 2.0s (約8g*)

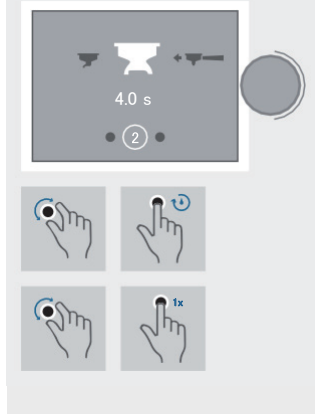
ダブルフィルター : 4.0s (約16g*)

* コーヒ粉量は使用する豆の種類、メッシュ、周波数など環境によって異なります。

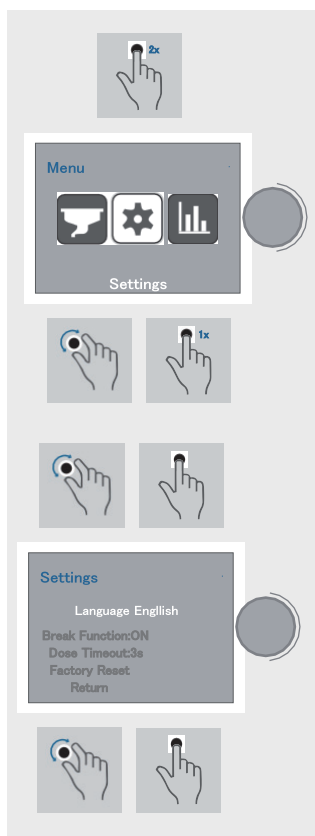
※プログラム設定は、10秒以上操作しないと、設定/変更がキャンセルされ、待機画面に戻ります。



グラインド時間の選択
グラインド時間を設定します。



初期画面でのレシピ変更
設定したいレシピ表示の画面で調整ダイヤルを長押ししてグラインド時間を設定します。



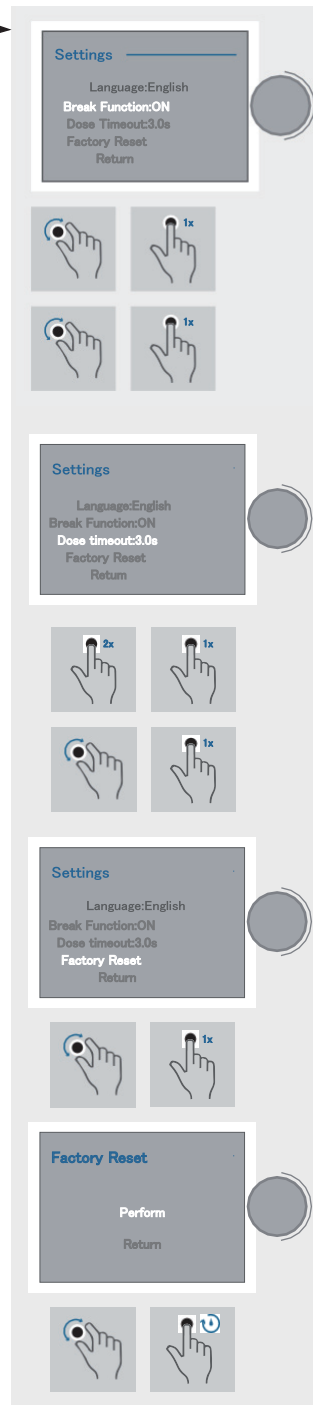
マシン設定
調整ダイヤルを2回押してメニューを開きます。

調整ダイヤルを回して
Settingsを選択します。

言語の選択
調整ダイヤルを回して
Settingsを選択します。

言語を設定します
(英語、ドイツ語、
フランス語、スペイン語)

調整ダイヤルを回して
言語を選択します。
保存する際は、調整ダイヤルを
1回押ししてください。



ブレイク機能の設定
ONでブレイク機能を有効/
OFFで無効にします。

ブレイク機能を有効にすると、
グラインド中断時に、スタートボタンを
離すと秒数がリセットされます。

ブレイク機能を無効にすると、
グラインドを中断した際に残っている
グラインド秒数は継続されます。

もう一度スタートボタンを押すと
グラインドが停止します。

ドーサーのタイムアウト設定
グラインド中断時の残り時間保持時間を
設定します。

グラインド中断の際のタイムアウト時間
設定範囲：3.0s～10.0s

※ブレイク機能無効時にのみ
設定可能

工場出荷リセット
工場出荷時の設定に戻します。

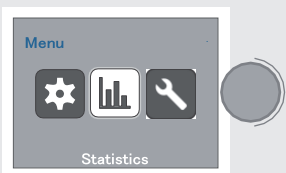
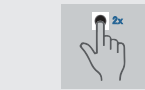
リセットする場合はPerformにカーソル
を合わせ、調整ダイヤルを長押しします。

プログラム

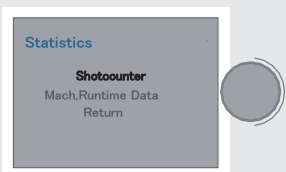
※プログラム設定は、10秒以上操作しないと、設定/変更がキャンセルされ、待機画面に戻ります。

統計

調整ダイヤルを2回押してメニューを開きます。



調整ダイヤルを回してStatisticsを選択します。



カウンターの確認・リセット

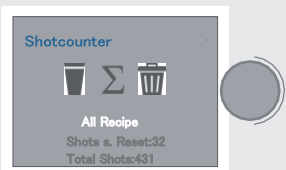
レシピを選択して「Shots s. Reset」または「Total Shots」が確認できます。



Shots s. Reset :
最後にリセットしてからのグラインド数

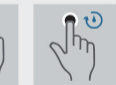
Total Shots :
累計のグラインド数 (リセット不可)

調整ダイヤルを回し、レシピ毎のグラインド数が確認できます。

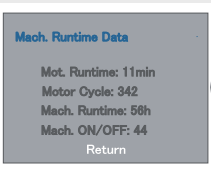
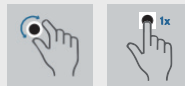


Reset Counterを選択し、調整ダイヤルを長押しすると全レシピのカウンターがリセットされます。

「Shot s.Reset」はリセット可能です。
「Total Shots」はリセットできません。



Machine Runtimeを選択します。



各累積データが確認できます。

Mot. Runtime:
モーターの稼働時間

Motor Cycle:
モーターの稼働回数

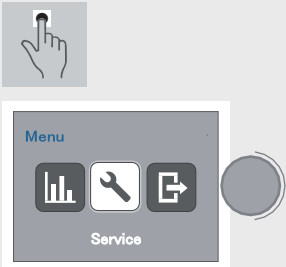
Mach. Runtime:
マシンの稼働回数

Mach. ON/OFF:
マシンのON/OFF回数

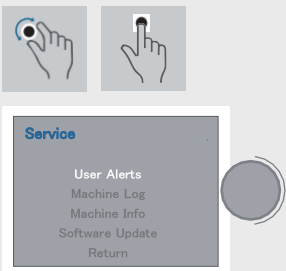
※プログラム設定は、10秒以上操作しないと、設定/変更がキャンセルされ、待機画面に戻ります。

サービス

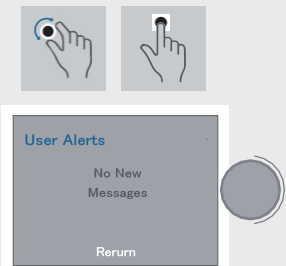
調整ダイヤルを2回押してメニューを開きます。



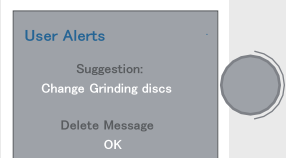
調整ダイヤルを回してServiceを選択します。



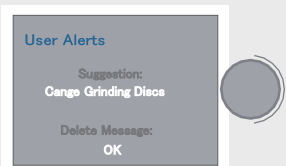
ユーザーアラート設定



ユーザーアラートの確認
エラーはありません。



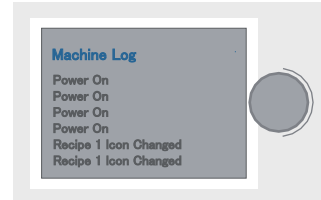
メンテナンス会社にお問い合わせください(「メンテナンスとサービス」を参照)。



マニュアルに記載されているとおりにグラインダーをクリーニングします(「グラインダーのクリーニング」のセクションを参照)。

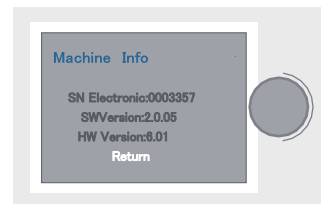
マシンログ

グラインダーが[Machine Log]の下で運転されてから、すべての操作履歴が確認できます。



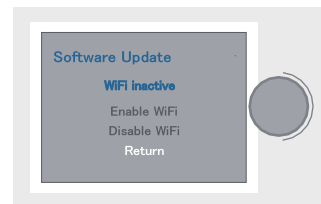
マシン情報

SN Electronic: シリアルNo.、
SW Version: ソフトウェアバージョン、
HW Version: ハードウェアバージョン
が表示されます。



ソフトウェアの更新

※「ソフトウェア更新」メニューは技術者専用の為、お客様ご自身で操作することはできません。



毎日の清掃



清掃の前には、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 1 以下の部品をブラシで清掃してください。
 - ・吐出口
 - ・フィルターホルダー
 - ・スタートボタン
 - ・フィルターホルダーサポート
 - ・フィルターホルダーサポート固定ネジ
- 2 ドリップトレイを本体から前方に引き抜いてください。
- 3 外装とドリップトレイを湿ったタオルで拭き清掃してください。

■吐出口清掃

- 1 吐出口を取付け部から下側に引き、取り外してください。
 - 2 ブラシを使って、吐出口を清掃してください。
湿ったタオルで清掃し、その後十分に水気をふき取ってください。
- ※吐出口の表面を損傷しないように注意してください。
細かい擦り傷があると、コーヒー粉が傷に付着してグランド量が安定しない可能性があります。

■ホッパー清掃

※ホッパーにコーヒーの油分が付着すると安定したグランドに悪影響を与えます。

- 1 ホッパーシャッターをスライドし、閉じてください。
豆流入口に残っている豆が無くなるまで挽いてください。
- 2 マイナスドライバーを使用してホッパー固定ネジを外します。
- 3 ホッパーを反時計回りに回転させ、上に引き上げて取り外します。
場合によっては、一時的に豆を別の容器に移してください。
- 4 ホッパー内側の油分を乾いたタオルでふき取ります。
- 5 ゴムリングが豆流入口に正しく取り付けられ、平らに設置されているかを確認してください。
- 6 ホッパーを豆流入口に取り付けます。
取り付けする際には、ホッパーを所定のくぼみにしっかりと取り付けてください。
- 7 ホッパーを豆流入口に軽く押して、時計回りに回転させ、本体に固定します。
- 8 マイナスドライバーを使用してホッパー用固定ネジを時計回りに回して固定します。

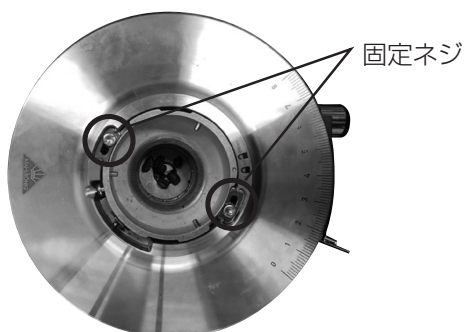
月1回の清掃



清掃の前には、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください。

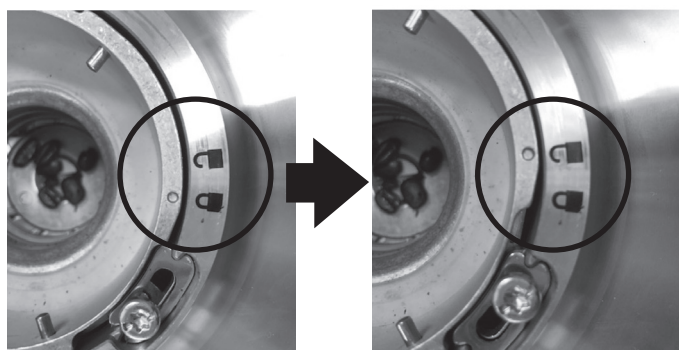
必要工具：T20星形ドライバー or マイナスドライバー、ブラシ ※必要工具はお客様ご自身でご用意ください。

- 1** ホッパー・ゴムリングを外して、固定ネジ(2箇所)を緩めます。
※固定ネジは完全に外さないでください。

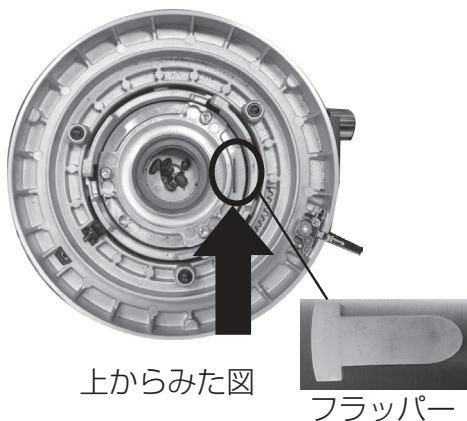


上からみた図

- 2** ロック表示をロック表示からロック解除表示にスライドさせ、本体のフタを開けます。



- 3** ↑部分の部品からフラッパーを外し、ブラシなどで清掃してください。



上からみた図

- 4** 逆の手順で組み立ててください。

故障診断

故障診断

機械が故障した場合、または機械に異常を感じた場合は、直ちに使用を中断し、販売店に連絡の上、その指示に従ってください。

修理を依頼される場合、次の事柄をご確認の上ご連絡ください。

発生日時、発生時の状況（どのような時に発生したか）、具体的な症状

また、修理を依頼される前に、次の事柄をご確認ください。

故障症状	確認事項	処 置
グラインダーが音を立てるが、豆を挽かない	粉が詰まっているか？	調整レバーを「8」に合わせグランドしてください。 グランドされるようになりましたらメッシュを調整してください。
メッシュが細かくならない	グランドディスクが消耗しているか、新たに調整する必要があります。	販売店またはお問い合わせ先に連絡ください。
グランド量が安定しない	吐出口が詰まっている。 グラインダー内部に粉が滞留しすぎている。	吐出口を取り外して、清掃してください。
ホッパーが取り付けできない	豆流入口に豆が溜まっている。	豆流入口から豆を取り除いてください。
	ゴムリングが豆流入口に平らに取り付けられていない。	ゴムリングが正しく取り付けられているか確認してください。
粉がポルタフィルターの中央に落ちない	吐出口が正しく調整されていない。	吐出位置をポルタフィルターに合わせて正しく調整してください。(3ページ参照)

■最大許容運転サイクルを超えると、安全装置が作動する場合がございます。

グラインダーには過電流防止遮断機があり、過電流が起きた時にグラインダーの電気回路を遮断して使用不可になります。グラインダーを復旧させるには電源をOFFにしてリセットボタンを押してください。

また、グラインダーにはモータープロテクターがあり、モーターが過度に熱くなった場合に電源が切れる仕様になっています。モーターが冷え次第、運転を再開できるようになります。

	MAHLKÖNIG コーヒーグラインダー
モデル	E65S
外形寸法 (mm)	幅 195 / 奥行 283 / 高さ 327 (ホッパー取付時：高さ583)
重量(約)	11.2kg (ホッパー含む)
ホッパー容量(約)	1.2kg
電源：消費電力	単相 100V：50/60Hz 550/700W
能力	240～300g/分

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

製品保証書

型式	MAHLKÖNIGコーヒーグラインダー E65S	機番	保証期間
お客様様	お名前	様	お買上げ日より 1 年
	ご住所 〒		お買上げ日
	電話 ()	—	* 年 月 日
*販売店名			
住所			
電話 () —			

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。
ご販売店さまへ：*印欄は必ず記入してお渡してください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。
- 商品の補修用性能部品の保有年数は、製造打ち切り後5年。

ラッキ-コーヒ-マシン 株式会社

本社 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町95番 TEL(078)451-8300 FAX(078)451-5777

東京本部

広域営業部 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル TEL(03)5400-3483 FAX(03)5400-5724

営業所

札幌営業所 〒004-0005 札幌市厚別区厚別東五条1丁目4番26号 TEL(011)898-3636 FAX(011)897-1467
東京営業所/東京ショールーム 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル TEL(03)5400-5720 FAX(03)5400-5723
名古屋営業所/名古屋ショールーム 〒451-0046 名古屋市中区牛島町5番4号 TEL(052)587-7678 FAX(052)587-7677
大阪営業所/大阪ショールーム 〒537-0001 大阪市東成区深江北3丁目5番7号 TEL(06)4259-2655 FAX(06)4259-2660
福岡営業所 〒813-0062 福岡市東区松島6丁目2-1 TEL(092)292-0335 FAX(092)292-0356
福岡ショールーム 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目9-3 博多駅前シティビル TEL(092)292-0335 FAX(092)292-0356